資料 5

重点・要点審議事業一覧表

	番号	重点・要点	県名	事業名		前回評価（年度）	事業計画等の変化			事業費の変化			便益の変化			費用便益比の変化				完成予定等	対応方針（原案）
				箇所名	プロジェクト名		対象施設	施設規模（総延長）	変更内容	全体事業費 今回（億円）	全体事業費 前回（億円）	変化要因	主な便益 今回	主な便益 前回	変化要因	全体 今回	全体 前回	残事業 今回	残事業 前回		
1	1	重点	宮城県	仙台湾南部海岸	直轄海岸保全施設整備事業	H25（再々評価）	ヘッドランド	3,050m（12基）	―	520	520	―	【侵食・高潮に対する便益】 ①浸水想定区域内の水田・畑　287ha・**317ha** ②浸水想定区域内の家屋・事務所　35戸・15事業所 **※浸水想定区域内において水田から畑への土地利用が変化し、水田は減少したものの、付加価値の高い「いちご等を含む畑作物」が増加したため、農地資産や畑作物の便益が増加** 【参考：津波に対する便益】 ③浸水想定区域内の家屋・事業所　608戸・841事業所 ④浸水想定区域内の水田・畑　378ha ⑤浸水想定区域内の人的被害者数 406人（※1）	【侵食・高潮に対する便益】 ①浸水想定区域内の水田・畑　728ha・**257ha** ②浸水想定区域内の家屋・事務所　332戸・30事業所 【参考：津波に対する便益】 ③浸水想定区域内の家屋・事業所　480戸・ー事業所 ④浸水想定区域内の水田・畑　ーha ⑤浸水想定区域内の人的被害者数 291人（※1）	・東日本大震災からの復旧、復興の進捗に伴う、浸水想定区域内の土地利用の変化 ・多重防御による嵩上げ道路（二線堤）の整備により浸水想定区域が変化	1.2 (1.3)※2	1.3 (1.4)※2	3.0	2.6	平成68年度完成予定	事業継続
							養浜	3,750千m3													
							海岸堤防	1,000m													
							粘り強い構造の海岸堤防（緑の防潮堤）	12,000m													
2																					
2																					

※1）最大クラスの津波発生時における避難率は、「水害の被害指標分析の手引き【試行】」における想定死者数の人的被害額の考え方により算出（避難率80%により算出）

※2）（　）書き：「緑の防潮堤」の効用を便益として見込んだ場合（津波による家屋被害額（一般資産被害額、農作物資産被害額）、一般公共・土木被害額等、人的被害額（避難率80%）の軽減額を算定し、事業全体の費用便益比を算定した結果）